履 歴 書 2025 年 7月 16日 現在

フリガナ	タケイダイチ
氏 名	武井大知



2004年 3月 11日生(満21歳)

性別 男

•	トウキョウト マチダシ ホンマチタ			電話 080-8739-2922
	〒194-0032 東京都町田市本町田219-4			メール08087392922a@gma i1.com
フリガナ				電話
現住所	〒 (現住所	所以外に連絡を希望する場	A \	メール
			方	

年	月	学歴・職歴
2016	4	世田谷学園中学校入学
2019	3	世田谷学園中学校卒業
2019		世田谷学園高等学校入学
2022	3	世田谷学園高等学校卒業
2023	4	湘南工科大学 情報学部 情報学科 入学
2027	3	湘南工科大学 情報学部 情報学科 卒業見込み

年	月	学歴・職歴					
2025	9	JDLA Deep Learning For GENERAL (G検定)	合格				
年	月	免許・資格					
志望の動機	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	Rがど	通勤時間				
志望の動機、自己PRなど 私は、情報技術を通じて社会課題の解決に貢献したいと考え、貴 社を志望いたします。貴社の事業に強く関心を持ち、私の技術力 を活かして貴社の発展に貢献したいと考えております。 大学では、JavaScript、C言語の基礎を学習し、条件分岐やルー プ処理などの基本的なプログラミング構造を習得しました。特に			約 時間 分				
			扶養家族数 (配偶者を除く)				
•		年以上のアプリ開発経験があり、実際のプロ レーションプログラムの開発に取り組んでまい		人			
りました。			配偶者	配偶者扶養義務			
			無	無			

本人希望記入欄 (特に給料、職種、勤務時間、勤務地、その他についての希望などがあれば記入) 貴社規定に従います。

ガクチカ

私が最も力を入れた経験は、大学2年次から継続している都市の安全性・回遊性向上を目指した研究です。この経験を通じて、実課題の特定から具体的な解決策の実行、そして目標達成に至る「課題解決力」を磨きました。研究では、歩行者の特性や「歩きスマホ」といった新たな要因に関する先行研究が少ないという困難に直面しました。これに対し、チームリーダーとして、机上の空論に終わらせず、実際に学内や駅前での実地調査を主導しました。多様なデータを収集し、独自の分析手法を確立することで、人々の行動特性を正確に把握し、その後の歩行者流最適化の提案へと繋げることができました。最終的に、この研究成果は学内のポスターセッションで発表し、また、知識を広く共有するためFirebaseを用いた教材を作成することで、チームを超えた貢献も果たしました。この経験から、予期せぬ困難に対しても現場主義で本質的な課題を見極め、粘り強く解決策を実行する力を貴社での業務にも活かせると確信しております。

自己PR

私の強みは、表面的な事象ではなく、課題の本質を特定する「分析力」です。この力は、塾講師のアルバイトで発揮されました。初めて担当した生徒の成績は「1」でした。当初は学習内容の理解不足かと考えましたが、丁寧なヒアリングと客観的な状況分析を行った結果、真の原因は「生活スケジュールの乱れ」にあると特定しました。単なる勉強法指導ではなく、生徒と密に連携し、一緒に無理のない学習・生活スケジュールを再構築することに注力しました。この本質的なアプローチの結果、生徒は生活リ

ズムを取り戻し、学習への集中力が向上。半年間で成績を「1」から「4」へと向上させるという成果に繋がりました。この経験から、成果を出すためには、周囲と密接に連携するコミュニケーションを前提に、物事を客観的に分析し、必要な実行プランを定めることの重要性を学びました。貴社においても、この分析力を活かし、多様な課題に対して本質的な解決策を実行することで貢献したいと考えております。

IT志望理由

私がIT業界を志望する最大の理由は、「自らの手で人々の生活を豊かにするソリューションを生み出したい」という強い思いがあるからです。この思いは、高校2年生の時、友人がXR

(Extended Reality)を使った文化祭の出し物を制作するのに関わった経験がきっかけです。当時、目の前でデジタル技術が人々の驚きや感動を生み出す様子を目の当たりにし、コードやPCというツールが持つ無限の可能性に強く魅了されました。以来、ITの力で「大小問わず少しでも人のためになる」影響を与えたいと考えるようになりました。将来的には、ITの設計・開発に携わり、お客様への丁寧なヒアリングを通じて真のニーズを満たすシステムやサービスを開発の初期段階から作り上げていきたいと考えております。技術を単なる道具としてではなく、社会や人々の課題を解決するための強力な手段として駆使し、貴社で世の中に貢献したいです。

...